

放課後等デイサービスガイドラインによる事業所自己評価票

事業所名:放課後等デイサービスぷろぼのスコラ生駒

2024年3月1日作成

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		利用者の体格が大きく部屋が狭く感じることもある。 多い日は2教室に分けてプログラムを実施している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	事業所が3階にありエレベーターの設置ができていない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			モニタリング内容を共有している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に1回アンケートを実施して意向を把握している。(避難訓練の実施など)
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			平成29年度より法人ホームページ上で公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価未実施。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回職員研修を実施。 プログラム検討会を実施。 外部研修参加
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリング時以外にも必要時に面談を実施している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人独自の評価項目を設定しR4年度より導入。半年に1回程度評価をつけている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月1回会議を設けて必要なプログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中の職場体験や講座、食堂実習などを実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			対象の保護者のみが見られる法人独自のHPで支援記録を作成し、保護者に確認してもらっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回程度モニタリングを実施。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		在籍なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	中高生対象なので就学前の機関と直接連絡することはない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて引継ぎケース会議に出席して共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			奈良県主催の研修に積極的に参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	中高生が対象のため、交流できる事業がない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			生駒市の放デイ交流会に積極的に参加。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			年2回保護者会を開催し進路に関する情報提供と意見交換を実施。また、外部講師を招き講演会も実施。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			進路についての相談と情報提供を行っている

責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		開催している保護者会は情報提供が目的であるが、保護者同士の連携も取れるような内容にしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月スコラだよりを送付
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の祭りにボランティアとして参加した。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			下校時生駒駅まで送迎し、集団で帰る練習に代えている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			重要事項説明書の「安全配慮義務」「緊急時の対応」において、虐待防止・身体拘束に関する法人の取り組みについて保護者に説明するようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			おやつなどの食事提供はしていないが、食べ物を提供するイベントについては確認の上行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	事例集は作成していないが、都度法人内で共有している